

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	茨木市岩倉町土地利用計画	階数	地上4F
建設地	大阪府茨木市岩倉町246番1,247番	構造	S造
用途地域	準工業 準防火	平均居住人員	80人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,080時間/年(想定値)
建物用途	事務所,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年8月 予定	評価の実施日	2021年11月11日
敷地面積	1,985㎡	作成者	大和ハウス工業 中山佳昭
建築面積	680㎡	確認日	2021年11月11日
延床面積	2,680㎡	確認者	大和ハウス工業 中山佳昭



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 89% (92 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 89% (92 kg-CO₂/年・m²)

④上記+ 89% (92 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

音環境	3.0
温熱環境	2.6
光・視環境	2.6
空気質環境	3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

機能性	3.3
耐用性	3.0
対応性	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性・	2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	2.7
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.8
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	3.4
地域環境	3.3
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項

総合	その他
建物周囲を緑化することで、周辺環境に配慮した計画としている。また、敷地内に適切な量の駐車スペースを設けている。壁面位置、外装の形状や色彩において白を基調とし圧迫感のない印象としている。	0
Q1 室内環境 床、壁、天井のうち一面に吸音材を使用している。(床: タイルカーペット)	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に可能な限り緑地を配し、周辺のまちなみや風景にバランスよく調和させている。
LR1 エネルギー BEIm=0.85	LR3 敷地外環境 建物利用者の為の適切な量の駐輪場を確保している
Q2 サービス性能 内装材には防汚性の高い材料を使用し維持管理の配慮をした。	
LR2 資源・マテリアル 節水便器 節水コマを採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0081

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	茨木市岩倉町土地利用計画					
		建設地	大阪府茨木市岩倉町					
		用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						3	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.7	3	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								